

宗像市人づくりでまちづくり事業補助金交付の審査項目

1. 事業助成の審査項目

申請書類を基本に、次の項目によって審査します。

審査項目		評価の視点
1 ニーズ把握、現状分析、課題設定の的確性		
①	ニーズの把握	ニーズ、現状分析を正確に把握し、需要がある。
②	必要性	企業、行政ではなく市民グループ、NPOが実施する意義がある。 ※特に企画提案型事業
③	地域的特性	地域的特性は配慮されている。
④	問題提起性等	社会への新たな問題提起につながる、あるいは、自分の団体内部の活動ではなく、他への広がりが期待できる。 <u>継続事業の場合、特に継続の必要性。</u>
2 先駆性・効果・公益性		
⑤	先駆性	新しい社会を作り上げるために、期待ができる開拓的なものである。
⑥	効果 (継続補助の必要性)	将来的に発展、継続する可能性があり、人づくりやまちづくりに効果の広がりが期待できる。 <u>継続事業の場合、特に継続の必要性。継続による効果。</u>
⑦	公益性	対象を会員のみに限定したものでなく公益的である。
3 事業計画性、資金調達の妥当性		
⑧	資金の調達	資金計画が確実なものである。補助金に依存しておらず、確実に会費徴収等自己資金確保を行っている。
⑨	実現性・実行性	事業計画、スケジュール等が実行可能な方法である。 事業に必要な人材の確保の目処が立っている。 関係機関、地域などの協力が得られる状態にある。
⑩	発展性	助成金を受けることで事業が発展する。
4 団体運営の安定性、自立性		
⑪	安定性・継続性	本事業終了後、解散したりせず、安定的、継続的な団体運営が期待できる。
⑫	自立性	行政や補助金等に依存的でなく、団体運営のビジョンを持ち、自立している。
5 人づくりまちづくりへの貢献度		
⑬	人づくり	事業実施を通して、宗像の人材づくり、まちづくりに寄与すると考えられるもの。
⑭	まちづくり	

2. 評価項目

(1)個人評価は「1～5の審査項目ごとの四段階評価」で実施します。

評価の基準は以下のとおりです。1人あたりの最高点は15点(5項目×3点)です。

点 数	3	2	1	0
評 価	助成対象として特に良い	助成対象として良い	どちらともいえない	助成対象として不適当

(2)個人評価の結果をまとめた集計表を基に審査委員が合議し、総合評価を実施し、対象事業、助成額を選定します。

(3)全委員の総得点が満点の50%に満たない場合は、助成はできないこととします。

(4)企画提案型事業については、募集課の意見を審査(総合評価)に反映させます。